

所管事務の調査

令和7年4月23日

市民生活委員会

(柴田誠・吉田修・濱洲大心・澤井一富・小川圭三・松岡寿)

市民生活委員会では、上下水道の施設や設備の現状を把握し、今後の議案審査等に生かすため、現地調査を実施しています。今回は下島南部地域にある以下の施設について、処理能力、稼働状況、管理状況等を確認しました。

現地調査先

- ・内の原浄水場（久玉町）
- ・浦越浄水場（魚貫町）
- ・一町田浄化センター（河浦町）
- ・高浜浄化センター（天草町） 他5施設



◀高浜浄化センターの現地調査



▲内の原浄水場の現地調査

調査を終えて

上下水道の施設や設備にはかなりの年数を経過しているものがあり、今後も計画的に更新を行う必要があります。

当委員会では、昨年度より閉会中の所管事務調査を行い、実際に現地を確認することで、的確な現状把握に努めてまいりました。今後も限られた財政状況の中で運営していく必要があることから、市民生活に支障が生じないように、施設の現況把握や動向を注視し、議案審査等に生かしていきます。

所管事務の調査

令和7年4月21日、6月10日

建設経済委員会

(五通俊作・前田正之・平山泰司・船辺修・宮下幸一郎・鯖江達朗・浦本力)

建設経済委員会では、本渡港周辺環境整備事業の進捗状況等を把握するため、令和6年から所管事務調査を行っています。今回は、熊本県主体の整備地等の現地調査のほか、本市の観光施設における指定管理施設の現状についても調査を行いました。

現地調査先

- ・本渡港周辺環境整備事業関連地
- ・うしぶか海彩館



▲うしぶか海彩館の現地調査



▲本渡港の現地調査

調査を終えて

本渡港周辺環境整備事業については、熊本県が事業主体の整備内容と市のスケジュールを確認し、スピード感を持ったまちなかの整備が必要と認識しました。

また、本市の観光施設における指定管理施設の現状については、管理状況等を確認し、令和6年度から大規模改修を行っているうしぶか海彩館の現地調査を行いました。

当委員会では、今後も状況把握や課題について協議するなど、議案審査等に生かしていきます。

全国市議会議長会永年勤続議員表彰

鶴戸 継啓 議員
(議員15年表彰)

議員歴

・平成22年4月～現在
(天草市議会議員)



この度、永年勤続表彰を賜りましたことに市民の皆様へ心より感謝申し上げます。

15年という大きな節目を迎えることができたのは、ひとえに皆様の温かいご支援とご理解のおかげです。これからも、天草市のさらなる発展のために地方自治の振興に尽力し、地域の皆様の声に耳を傾けながら誠心誠意取り組んでまいります。

今後ともご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

濱洲 大心 議員
(議員15年表彰)

議員歴

・平成22年4月～現在
(天草市議会議員)



この度、永年勤続15年の議員表彰を賜り、これまで支えていただいた皆様へ心から感謝申し上げます。

これまで「人が輝く天草市を目指して」をスローガンに小学生の登校時の見守り、地域活動とおして、現場第一と考えて行動をしてまいりました。皆様の要望を全てかなえるのは不可能ですが、これからも日々精進してまいります。今後も叱咤激励のほどよろしくお願いいたします。

所管事務の調査

令和7年4月30日

総務政策委員会

(若山敬介・柳田光芳・勝木幸生・中尾友二・浜崎義昭・下田昇一郎・門口徹)

総務政策委員会では、牛深港周辺整備事業の進捗状況等を把握するため、令和6年から所管事務調査を行っています。今回は、旧牛深漁協施設の解体予定地の現地調査や総合交流施設等基本計画案について調査を行いました。

現地調査先

- ・旧牛深漁協施設

調査を終えて

旧牛深漁協施設の地盤には、数百本の杭が埋設されており、杭を抜いた場合、地盤の軟弱化が想定されるとのことで、杭はそのまま残す形で解体を行うとのことでありました。

総合交流施設等基本計画案の概要版については、先人たちが残してきた「入り江」を活用し、観光経済を支える基盤を作ることを基本理念とするとのことでありました。



▲旧牛深漁協施設の現地調査

この基本理念を踏まえ、「牛深の海を守り学び継承する場づくり」、「牛深を支える人材と活力を生み出す場づくり」、「牛深に新たな人流を生み出す場づくり」を基本方針とし、総合交流施設やチャレンジスペースを活用した取組を進めるとのことでありました。

当委員会では、漁業者の所得向上と雇用創出、民間活力の導入につながるよう、また、人を呼び込み、お金を使ってもらえる施設になるよう注視し、議案審査等に生かしていきます。